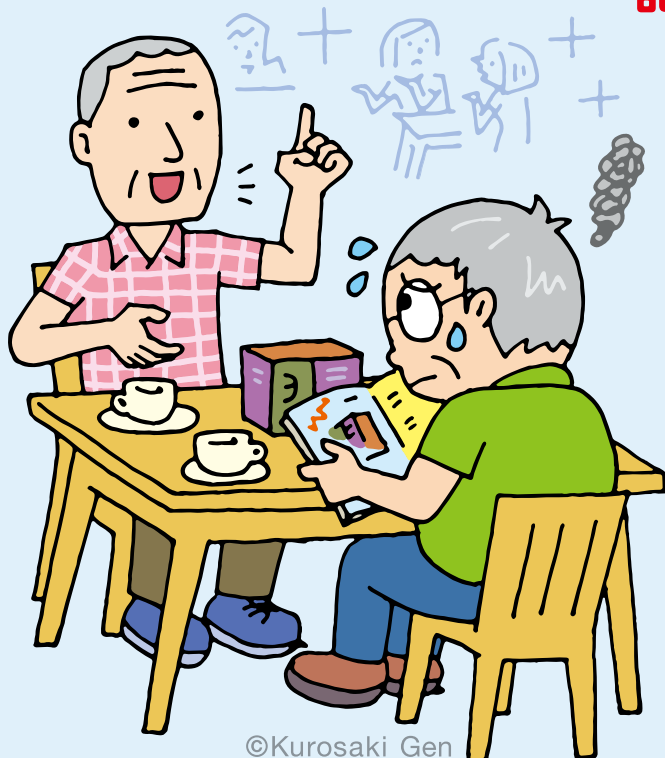


見守り 新鮮情報

自分は聴覚障がい者だが、**同じ障がい者の知人**から「体が元気になる」「糖尿病が治る」などと言われ**健康食品**を勧められた。マルチなので**商品**を**誰かに紹介するよう**にと



©Kurosaki Gen

言われ、できないと伝えたが、「私が代わりに紹介する」と言われ、契約した。しかし、契約後に態度が変わり、「自分で紹介しろ」と言い出した。**紹介する人もいないし、効果も感じられないので解約**したい。(50歳代 男性)

マルチ取引の勧誘 障がい者同士のあいだにも

ひとこと助言

勇気を持って
断ろう



見守るくん

- 友人や知人を勧誘して買い手を増やしていくマルチ取引の勧誘が障がい者同士のつながりを利用して行われているケースが見受けられます。
- たとえ親しい人や仲間からの誘いでも、必要のない契約であれば勇気を持ってきっぱり断りましょう。
- 家族や周囲の人も、いつもの様子と変わったところはないかなど、日ごろから気を配りましょう。
- クーリング・オフができる場合もあります。少しでも不安を感じたら、お住まいの自治体の**消費生活センター**等へ早めにご相談ください。家族や周囲の方、民生委員や介護関係の方でも相談することができます。